

BatSaturatorマニュアル

はじめに

BatSaturator は、Black Arts Techs が開発したアナログ風味のサチュレーション・プラグインです。

シンプルな操作で音に厚みや存在感を加えることができ、ボーカルやベース、ドラム、さらにはマスターバスまで幅広く活用できます。

内部には、トランスフォーマー風のキャラクターを付加する **Iron**、歪みの質感をコントロールする **Character**、全体の明るさを調整する **Tone** など、音作りに役立つ機能を搭載しています。

さらに独自の自動ゲイン補正により、**Drive** を大きくしても不自然に音量が下がりにくく、快適にサウンドメイクが行えます。

本マニュアルでは、基本的な操作方法から応用的な使い方、トラブルシューティングやサポート情報までをまとめています。

まずはプリセットを選んで音を出し、BatSaturator がもたらす質感の変化を体感してください。

1. 基本画面と操作方法

BatSaturator を読み込むと、以下のような画面が表示されます。



各コントロールの役割は以下の通りです。

- **Input**
プラグインに入る前の信号レベルを調整します。録音素材の大きさに合わせて入力を整えることで、Drive の効き方が安定します。
- **Iron**
トランスフォーマー風の質感を加えるコントロールです。偶数／奇数倍音のバランスが変化し、音に厚みや独特のキャラクターが加わります。
- **Drive**
歪みの量を調整します。値を上げるほど倍音が増え、サウンドが太く、前に出るようになります。内部では自動的に音量補正が行われ、極端に音量が下がらないようになっています。
- **Character**
歪みカーブの特性を変化させます。
ノブを左に回すと滑らかでナチュラルな歪み、右に回すとエッジの効いたアグレッシブな歪みになります。
- **Tone**
サウンド全体の明るさ／暗さを調整するワンノブのトーンコントロールです。
 - － 値を上げると高域が持ち上がり、明るくシャープな印象になります。
 - － 値を下げると高域が抑えられ、落ち着いたトーンになります。**Custom** モードを有効にすると、効き幅が広がり、より大胆な音作りが可能になります。
- **Mix**
原音（Dry）と処理後の音（Wet）のブレンドを調整します。等電力クロスフェード方式を採用しているため、バランスを変えても音量感が大きく変化しにくくなっています。
- **Output**
プラグイン全体の出力レベルを調整します。最終的なミックスに合わせてバランスを取るために使用してください。

プリセットの読み込み・保存

画面上部のプリセットメニューから標準プリセットを呼び出すことができます。
また、独自の設定を「Save Preset」で保存し、再利用することも可能です。

2. 機能解説と応用例

ここでは、各機能をどのように活用できるか、応用的な使い方を紹介します。

- **Input と Drive の組み合わせ**

入力を整えてから Drive を上げることで、狙った質感を得やすくなります。
過大入力是不要な歪みの原因となるため、Input で調整してから Drive を使うのが基本です。

- **Iron と Character の違い**

Iron はトランス的な色付けで音の厚みを変え、Character は歪みの質感そのものを変えます。両方を組み合わせることで、多彩なキャラクターを作り出せます。

- **Tone / Tone Custom**

Tone ノブを小さくすると落ち着いた音に、大きくすると明るい音になります。Custom モードでは効き幅が広がるため、極端な音作りや特殊効果的な処理にも使えます。

- **Mix の活用**

パラレル処理的に使うことで、原音のアタック感やニュアンスを残しながら、処理後の質感を足すことができます。特にドラムバスやマスターバスでは、30～50% 程度のブレンドが効果的です。

- **Output の調整**

Drive や Mix を大きくすると音量が上がる場合があります。最終的には Output で適切なレベルに整え、プロジェクト全体のバランスを保ってください。

サンプル設定例

- **ボーカル**：Drive を控えめ（4～8 dB）、Tone をやや上げ、Mix を50～70% に設定 → 前に出つつ自然な仕上がり。
- **ベース**：Drive を中程度（10～14 dB）、Iron を上げて厚みを加える → 芯のある存在感。
- **ドラムバス**：Drive を強め（14～18 dB）、Mix を 30～50% 程度 → パンチを増しながら原音の勢いも残せる。
- **マスタリング**：Drive をごく小さく（1～3 dB）、Tone を微調整 → 全体のまとまりを自然に整える。

3. トラブルシューティング

ここでは、BatSaturator を使用する際によくある問題と、その解決方法を紹介します。

音が出ない場合

- DAW 上でプラグインが正しくロードされているか確認してください。
- Input Trim が極端に下がっていないか確認してください。
- Bypass が有効になっていないか確認してください。

DAW にプラグインが表示されない場合

- インストール先のフォルダが DAW のプラグインスキャン対象になっているか確認してください。
- VST3 版を使用する場合は、標準のインストール先（例: ~/Library/Audio/Plug-Ins/VST3 (Mac) / C:\Program Files\Common Files\VST3 (Windows)）にあるか確認してください。
- AU 版を使用する場合は、Mac の Audio Units フォルダに正しく配置されているか確認してください。
- DAW のプラグインマネージャーで再スキャンを実行してください。

出力レベルが大きすぎる／小さすぎる

- Drive を大きくすると RMS レベルが上がるため、Output で調整してください。
- 過度に音量が変化する場合は Input Trim を調整してみてください。

CPU 使用率が高い

- 同時に複数のインスタンスを使用すると負荷が高まる場合があります。
- 他の重いプラグインと併用している場合は、フリーズ機能やバウンス機能を活用してください。

デモ版の制限

- デモ版では一定時間ごとにノイズが挿入されます。
- 製品版シリアルを入力することで制限が解除されます。

4. サポート情報

BatSaturator を快適にお使いいただくために、サポート窓口や参考情報をご案内します。

問い合わせ方法

- 製品に関するご質問や不具合報告は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

support@blackartstechs.com

- お問い合わせの際は、以下の情報を添えていただくとスムーズです。
 - ご使用の OS（例: macOS 15.6 / Windows 11）
 - ご使用の DAW とそのバージョン
 - BatSaturator のバージョン（後述の確認方法）
 - 問題の詳細（再現手順やスクリーンショットがあるとより有効です）

公式サイト

- 最新のアップデート情報、追加マニュアル、FAQ はこちらからご確認いただけます。

<https://blackartstechs.com>

バージョン表記の見方

BatSaturator のバージョンは「メジャー.マイナー.修正版」の形式で表示されます。

- 例: 1.0.0

- **1** = メジャーアップデート（大きな新機能追加など）
- **0** = マイナーアップデート（改善や小規模な追加）
- **0** = 修正版（バグ修正や安定性改善）

プラグイン画面のタイトルバー、または DAW のプラグイン情報画面からご確認ください。